（ NO1 ）

# 行 政 視 察 報 告 書

令和７年１月１６日

長浜市議会議長　髙山　亨　様

長浜市議会議員　　多賀修平 [redacted]

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　　令和６年度産業建設常任委員会行政視察研修
２．視察期間　　令和６年１１月５日（火）～１１月６日（水）
３．視察場所及び目的
①茨城県日立市
ひたちＢＲＴについて
②栃木県栃木市
産業団地の整備について
４．調査内容感想等

・視察の目的

① 日立市の BRT 事業を長浜市の公共交通施策の参考にするため
② 栃木市の産業団地の整備を長浜市の今後の産業立地計画に反映させるため

長　浜　市　議　会

・視察内容

① ひたちBRTについて

ひたちBRT事業は、「道路などの基盤整備を市が行い、運行は交通事業者が行う」公設民営方式を採用しておられる。また、基盤整備に関する事業費の一部は、国土交通省の交付金等を活用しているとの事。ひたちBRT事業の目的は、新しい交通基盤を整備するだけではなく、【市民との協働】を目的としており、人や環境にやさしい街づくりを進めることで、日立市が『住んでよかった、また住みやすい』まちになるために行っているとの事。企業や学校を含む市民一人ひとりの協力により、BRT 事業が成り立ち、将来のまちが生まれることになります。市民の声を十分に反映するために積極的な情報提供を行い、市民が参画できる機会を増やすために ⑴専用バスのデザイン公募⑵BRT サポーターズクラブの設置⑶公共交通利用促進に向けたイベント開催等取り組みを行っているとの事

② 産業団地の整備について

産業団地の造成にあたって、電力・通信インフラの整備に関する課題や解決に向けた取り組みについての問いに対し次の回答があった。計画の段階から電力会社・通信会社との打ち合わせをしてきました。スケジュール管理の目安なども事前に確認しておりました。課題としましては、特別高圧電力は採算性も考慮し、企業が決定してからの引き込みとなるため、どの街区に鉄塔を立てるか等の調整が必要なことから、企業からの要望に応じて使用収益開始に間に合うよう打ち合わせを行っています。

農地転用規制の解除にあたりどのような課題があったのかの問いに対し、主な課題の一つとして、耕作者の単収が市の平均を下回ることを国から求められております。要点としては、優良耕作地であっても農地転用をすることがやむを得ないとなる資料作りを行いましたとの回答があった。

産業団地の整備をするにあたり、企業へのPRをどのようにされたのかの問いに対し、令和 5 年度から市役所担当課職員が東京サテライトオフィスに週２～３回出勤して、大手ゼネコン・金融機関・大手企業に訪問を鋭意行っております。令和５年度の実績は、新規商談件数６０社との回答があった

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

虎姫地域でもデマンドタクシーが今後運営されるが、本市においても【市民との協働】の理念に基づき推進していきたいと考えます。広報に力を入れていきたい。

産業団地の整備に関しては、本市はまだまだ取り組まなければならない課題が多いと実感した。県や経済団体をはじめとする様々な関係者の話に耳を傾け、真摯に相手の立場に立ち、取り組んでいかなければならないと痛感した。

市職員が生き生きと諸課題に取り組んでいる姿を垣間見、本市の在り方について再考させられ、今後の課題として取り組んでいきたい